

## 長岡大学研究論叢 開学20周年記念号刊行にあたり

2001(平成13)年に開学した長岡大学は、めでたく20周年を迎えることができました。これまで長岡大学を支えてくださいました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

本学にとってこの20年という歳月は、決して安泰とは言えない険しい道を、つまづきながらもとにかく止まらないように走り続けてきたという印象を個人的には持っています。あらためてこれまでの20年の道のりを振り返ってみると、確かに地味ではありましたが、幾度かの困難を乗り越える過程で大学自体も成長し、地域の中での存在意義を少しずつ高めてきたように思います。この20年間の本学の歴史を築いてきた主役は、やはり卒業生、在学生とそれを支えた教職員の皆さんですが、そこにはいつも本学の取り組みにご理解いただき、温かい手を差し伸べてくださいました地域の皆様のご協力がありました。この場をお借りして御礼申し上げます。

本来であれば、皆様への感謝の気持ちを込めて盛大に開学20周年をお祝いしたいところですが、未だに新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の収束が見えない現状において、誠に残念ながら主な20周年事業を2026(令和8)年に予定される25周年へ移行させていただくことにいたしました。なお、開学20周年記念事業の一つとして、本学の専任教員から自由なテーマで寄稿を募り、この「長岡大学研究論叢 開学20周年記念号」に取りまとめましたので、何卒ご高覧いただくと幸いです。

本学はこれまで培ってきた歴史と伝統を継承し、これからも「地域とともに地域の未来をつくる大学」を目指して教職員一同全力で取り組んで参ります。今後とも地域の皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2022年3月

長岡大学学長 村山 光博